

第34弾

2020

2・25 東電直撃デモ!!&シール投票

東電経営陣の責任は？ 有罪 or 無罪

福島原発事故は 終わってない！

オリンピックで
ふたをすするな！



NO NUKES

原発とめろ！新橋アクション



◇デモ出発地：桜田公園内（新橋駅烏森口すぐ）

◇日時：2月25日（火） 18時半デモ出発！

* 17時30分～18時20分まで、新橋S L広場前でシール投票（裏を参照）を行ってからデモに出発します。デモの後、交流会を行います。ぜひ参加を！

<呼びかけ・連絡先>

◎なんぶユニオン 品川区大井 1-34-5 河野ビル3 F
TEL / FAX : 03-3778-0717
mail : nanbuunion@yahoo.co.jp

◎東京中部ユニオン 台東区元浅草 2-4-10 5 F
全国労組交流センター気付け TEL : 03-3845-7461

◎ブログ「新橋アクション」で検索して下さい。

☆東京電力・福島第一原発事故の責任を問うことをテーマに、地域の合同労組が中心となって、誰でも入れる反原発デモ・企画を行っています。

東電は責任取れ！避難者の追い出しやめろ！



東電経営陣の責任は？

有罪 or 無罪 シール投票

2月25日 17:30~18:20
新橋 SL 広場にて

東電は、2008年の時点で、
最大 15.7 メートルの巨大津波が
福島第一原発に押し寄せるとい
う解析結果を得ていた。

いったんは会社として対策を取
る方針となり、担当社員たちは
奔走したが、対策費用が莫大に
なると分かると、元幹部らによ
って握りつぶされてしまう。

3・11直後から「想定外の事故
」と宣伝されたが、事実は正反
対であり、大ウソだった。

津波計算から事故当時まで、
会社の経営の最高責任者であ
ったり原発の安全対策を担当し
ていた元役員 3 名（勝俣恒久
元会長、武黒一郎元副社長、
武藤栄元副社長）が被告人とな
っている刑事裁判で、

2019 年 9 月 19 日、東京地裁
（永淵健一裁判長）は、3 人全
員無罪という不当判決を下した。

あなたは、どう思いますか？

裁判で明らかになった事実

- 2002 年 7 月 政府が福島沖でも大津波をもたらす地震が発生する可能性がある
と予測。（地震調査研究推進本部の長期評価）
- 2007 年 7 月 新潟県中越沖地震で柏崎刈羽原発が被災、全 7 機が停止。東電
の収支が悪化。
- 2008 年 3 月 東京電力（土木調査グループ）は長期評価に基づき、最大 15.7m
の津波対策が必要と試算。
 - 6 月 武藤は土木調査グループに対し、「もっと想定の数値を下げられないのか」と
言及。
 - 7 月 21 日 中越沖地震への対応打ち合わせが行われ、武藤、武黒が出席。耐震工
事等の費用として、柏崎刈羽原発 3264 億円、福島第一・第二原発 1941 億円を計上
したが、「津波対策を除く」と明記されていた。
 - 7 月 31 日 東電社内で行っていた津波対策が、武藤の指示で停止される。
 - 8 月 東海第二原発では政府の長期評価に基づき、津波高さの想定を引き上げて
対策を行うことを報告、実行された。
 - 8 月 22 日 武藤の指示で、津波の高さをより低く計算できる方法が採用された
が、13.6 メートル（東電設計）や 10 メートル（土木学会）の津波対策が必要であると
判明。しかし、武藤らの経営判断で、津波対策は先送りにされた。
 - 11 月 東北電力では女川原発の津波高さの想定を引き上げ、耐震バックチェッ
ク最終報告書を完成。想定される津波の高さでは、福島第一原発のメルトダウンを
引き起こす可能性が予測された。東電は東北電力に圧力をかけ、最終報告書を書き
換えさせた。
- 2010 年 4 月 東海第二原発の津波対策工事終了。
- 2011 年 3 月 11 日 東日本大震災発生。東京電力福島第一原発に 11.5 ~ 15.5m
の津波が襲来、全電源喪失。1、3、4 号機建屋が水素爆発。津波対策を実施した
東海第二原発では、わずか 70cm の余裕で津波による全電源喪失を免れた。

東京電力福島第一原発事故から 9 年。廃炉作業は進まず、汚染水は増え続け、小児甲状腺がんは 230 人を超えました。原発事故被害者が苦しみ続ける中、「復興オリンピック」に向けて JR 常磐線が全線開通されます。帰還困難区域の一部を避難解除し、避難者を住宅から追い出し、放射線量が高い場所へ強制的に戻そうとしています。原発事故は終わってない！オリンピックやってる場合じゃない！原発再稼働は許さない！被ばくから子どもたちの健康を守るため、原発事故被害者への完全賠償を勝ち取るため、東電と国に原発事故の責任を取らせましょう！